

平成27年度 就学前人権教育研究協議会B（実技的演習）実施要項
 -〔就学前人権教育研修B〕-
 -人権教育の観点から多様な課題に応え、スキルを高める-

8060

- 1 目的 言葉・感性の育成、保護者との対応、障がい理解等の多様な課題に対して、人権教育の観点に立って、その在り方と指導スキルについて、実践的な研修を実施する。
 ① 人権が尊重された就学前教育の在り方について理解を深める。
 ② 講演を通して、子どもを見る観点や人間関係づくりの大切さについて認識を深める。
 ③ 演習等を通して、子どもや保護者への支援の在り方について展望を持つ。
- 2 対象者 保育所保育士、認定こども園保育教諭、地域型保育事業保育士及び認可外保育施設保育従事者
 募集人数 計150名
- 3 研修内容等

日時	分科会	研修テーマ・内容	講師等
10月19日 (月) 14:00～ 17:00	第1分科会	子どもの人間関係づくり「からだ・ことば・リズム ～ふれあいあそびから～」 子どもは、どのようにして五感を通して発達していくのかを理解した上で、保護者や友だち等と、温かい人間関係を育むことができる具体的な方策を、わらべうた等を用いたふれあい遊びの体験などを通して、ワークショップ形式で考える。 〔講演・ワークショップ〕	子ども情報研究センター 講師 天野 忠雄
	第2分科会	気持ちをことばに「自分の感情に気づき、伝え合う力の育成をめざして」 気持ちのイラストを使ったワークなどを体験する中で、自分の気持ちに向き合い表現することや、人とつながることの大切さについて理解を深める。また、講師の実践から、子どもたちが安心して学び合うために必要なことを確かめる。 〔講演・ワークショップ〕	豊中市立新田南小学校 教諭 阪本 珠生 門真市立北巢本小学校 教諭 野上 由美子
	第3分科会	子どもの生活と自然「モノ、コトに関わって遊びを見つける」 子どもの遊びや活動は、物や現象に様々な行為で関わり、試し、繰り返し、そのあり様を変えてみることに本質があるが、その中でも「自然」に関わり、遊びを作り出す事は、幼児の生活にとって極めて大切な経験である。この分科会では自然に関わる遊びの様々な要素、そのバリエーションを教材研究の観点から理解する。 〔講演・演習〕	学校法人 今川学園 木の実幼稚園 (松原市) 園長 今川 公平
	第4分科会	自閉症をその「育ち」から考える 自閉症のある子どもを、「問題行動をどのように正すか」といった従来の発想とはちがう、「心を育てる」という観点から理解する。後半は、保育の中の具体的な支援について、グループで検討する。 〔講義・演習〕	常磐会学園大学 准教授 山崎 徳子
	第5分科会	子どもの人権「子どもの虐待防止に向けて」 虐待が引き起こされる構造や被虐待児童の特徴について理解すると共に、グループワークにより実践的事例を学びながら各自が振り返る機会とし、虐待の発見・通告のポイントを学ぶ。 〔講義・演習〕	大阪府中央子ども家庭センター 総括主査 南森 早輝 総括主査 松村 由貴

4 会場 大阪府教育センター (大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882)

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
 JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
 近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担当 大阪府福祉部子育て支援課 塩田 06-6944-6678

- 6 その他 (1) 来所時には所属名・名前が入った名札を着用すること。
 (2) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと。
 (3) 受付は30分前から。
 (4) 印鑑を持参すること。

個別募集